

教科名	地理歴史		科目名	世界史A
科目の目標	古代・中世の世界観を土台として近現代の歴史を学ぶ。その際、我が国の歴史と関連付けながら世界の歴史を理解することや人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
履修学年	3学年	学科・コース	工業科	
単位数	2単位	授業形態	一斉学習	
教科書	高等学校 世界史A新訂版 (清水書院)	副教材等	地歴高等地図 (帝国書院)	
<b>1 学習の目標</b>				
<p>本校では、全生徒が「世界史A」を学び、次のような力を付けることを目標としています。</p> <p>(1) 古代・中世の歴史を土台とし、近現代史を我が国の歴史と関連付けながら理解すること。</p> <p>(2) 人類の課題を多角的に考察することにより、歴史的思考力を培うこと。</p> <p>(3) 国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養うこと。</p>				
<b>2 学習内容と進め方</b>				
<p>(1) 教科書を基本に、古代・中世の世界観や現代における世界の歴史の基本的事項を学びます。</p> <p>(2) 授業中にできるだけ多くの資料を使い、自分で資料を相互に関係付け活用する課題にも取り組みます。(教科書の各種資料や世界の地理・産業、歴史上の人物などを参考にします)</p> <p>(3) 現代の世界における諸課題について、理解の深化を図るとともに、課題解決の方策や自ら考え判断する力を身につけます。</p>				
<b>3 学習の留意点</b>				
<p>次のことに心がけて学習すると学習内容に対する理解が深まります。</p> <p>(1) 世界の歴史や現代の世界について、「なぜ?」という疑問や問題意識を大切に学びましょう。</p> <p>(2) 様々な立場の考え方を知り、歴史的に過去や現代を考え、人類の課題を多面的に考える力を身につけましょう。</p> <p>(3) 歴史に関する資料を調べ、客観的な事実を探求する力や資料をもとに年表や図表などに表現する力を身につけましょう。</p> <p>(4) 「基本的な知識・理解」について、自分の言葉でその背景などを説明することができる力を身につけましょう。また、配布される授業プリントには、板書事項だけでなく自分の考えたことや感じたこと興味を持ったことなどをメモし、歴史的事実を理解をする上での参考となるよう自ら工夫をしましょう。</p>				
<b>4 評価の方法</b>				
<p>(1) 定期考査では「知識・理解」「思考・判断・表現」を中心に学習の定着度を評価します。</p> <p>(2) 「関心・意欲・態度」は、毎時の提出プリントや授業を受ける姿勢、発言などで評価します。</p> <p>(3) 「資料活用の技能」は、提出する課題レポートや視聴覚の活用学習における発表などで評価します。</p>				
<b>5 授業計画</b>				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	世界史Aについて	オリエンテーション		
	序編 自然環境と歴史	乾燥地帯の生活と歴史 海と森の生活と歴史	<p>【関】 自然環境と人間の歴史の相互作用について興味を持ち、探求する。</p> <p>【思】 自然環境が文化・文明に与えた影響を考察する。</p> <p>【技】 自然環境と生活の関係を地図や写真から読み取る。</p> <p>【知】 授業プリントをもとに、自然環境と人々の生活の様子を理解する。</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など</p> <p>この単元を自己評価してみよう A B C</p>
5	第1編 ユーラシアの文明と交流	<p>第1章 アジアの諸文明</p> <p>1節 東アジア文明</p> <p>1 中国文明の成立と東アジア</p> <p>2 東アジア文化圏の形成</p> <p>3 宋王朝と周辺諸国の国際関係</p> <p>4 ユーラシアの交易路</p> <p>5 遊牧社会の発展とモンゴル帝国</p> <p>6 明・清時代の大陸アジア</p> <p>7 海域アジアの繁栄</p> <p>2節 南アジアの文明</p> <p>8 南アジアの文明とインド社会</p> <p>3節 東南アジアの文明</p> <p>9 東南アジアの文化と海上交易</p>	<p>【関】 各地域世界の特色に興味を持ち、探求する。 広大なユーラシア大陸を結ぶネットワークとそこで繰り広げられる民族の興亡について興味を持ち、探求する。</p> <p>【思】 各地域世界の結びつきに着目し、現代社会における諸課題について多面的、多角的に考察する。 モンゴル帝国前・後のユーラシアの変容とアジアが世界に及ぼした影響について考察する。</p> <p>【技】 地域世界の中心地とその周辺地域の相互関係を世界地図や資料を活用しながら読み取る。 白地図などを利用し、ユーラシアの交流ネットワークや民族や地域的特徴を考え、交流による地域世界の一体化について理解</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など</p> <p>この単元を自己評価してみよう A B C</p>

6		<p>4節 西アジアの文明 10 西アジアの古代文明 11 イスラーム文明の開化 12 ティムール帝国とムガル帝国 13 オスマン帝国とサファビー朝</p>	<p>する。 【知】 民族や地域的特徴を考え、交流による地域世界との一体化について理解する。</p>	
7	第2編 一体化する世界	<p>第2章 ヨーロッパの文明 1節 ヨーロッパの文明 14 古代地中海世界 15 西ヨーロッパ世界の形成 16 東ヨーロッパ世界の形成</p>	<p>【関】 ヨーロッパ世界の形成について興味を持ち、探求する。 【思】 ヨーロッパの文明の特色を、古代地中海文明と中世ヨーロッパ文明からとらえる。 【技】 写真、地図、年表等を活用して、ヨーロッパ世界の展開と風土・文化の特色を読み解く。 【知】 ヨーロッパ世界の形成や分裂を宗教や民族、アジア・アフリカの影響の観点から理解できる。</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など この単元を自己評価してみよう A B C 【期末考査 6月下旬】</p>
8		<p>第3章 ヨーロッパの再編と大西洋世界 1節 ヨーロッパの新時代 17 新航路の開拓とアメリカの植民地化 18 ルネサンスと宗教改革 2節 ヨーロッパの主権国家と大西洋世界 19 主権国家体制 20 成熟するヨーロッパ諸国 21 大西洋貿易の時代</p>	<p>【関】 外に大航海時代、内にルネサンス・宗教改革など世界に大きな影響を与えるヨーロッパの出来事について興味を持ち、探求する。 【思】 今日の世界の大枠が形成されたこの時代を現代社会の視点から考察する。 【技】 白地図などを活用しヨーロッパがどのように世界に進出し、影響を及ぼしたかをまとめる。 【知】 地域世界の中心地とその周辺地域の相互関係を世界地図や資料を活用しながら理解する。</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント提出 この単元を自己評価してみよう A B C</p>
9		<p>第4章 拡大する欧米の衝撃とゆれるアジア・アフリカ 1節 革命の時代へ 22 産業革命と一体化する世界 23 アメリカ独立革命 24 フランス革命 25 ナポレオンの大陸支配 26 ラテンアメリカ諸国の独立 2節 国民国家建設へ向かう 27 ウィーン体制 28 自由主義運動と社会主義 29 1848年革命 30 帝国の再編と国民国家 31 発展するアメリカ合衆国 3節 帝国主義とアジア・アフリカの従属化 32 第2次産業革命と欧米諸国 33 ムガル帝国の崩壊 34 オスマン帝国の衰退と西アジア 35 東南アジアの植民地化と太平洋分割 36 アフリカの分割とラテンアメリカ</p>	<p>【関】 革命により、世の中がどのように変化したかに興味を持ち、探求する。 【思】 現代社会の礎となった市民革命に至る理由と人権等について考察する。 【技】 資料、地図、写真などで、革命期の人々の生活の様子や文化交流の様子などが理解されているかを知る。 【知】 革命の歴史的意義について理解する。西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し市民社会や国民国家の形成が進行したことを理解する。 【知】 帝国主義とは何なのか。資本主義経済の発展と関係させ理解する。</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント提出 この単元を自己評価してみよう A B C</p>
10		<p>4節 東アジアと日本の帝国主義化 37 清朝の動揺 38 東アジアの中の日本と朝鮮 39 日清・日露戦争と日本のアジア進出</p>	<p>【関】 今までの戦争と大戦の違いについて興味を持ち、探求する。 【思】 人類が悲劇的な大戦を二度も繰</p>	<p>【中間考査 9月下旬】</p>
11	第3編 現代世界と地球社会の歩み	<p>第5章 世界戦争に時代 1節 急変する人類社会 40 現代社会のはじまり</p>	<p>【関】 今までの戦争と大戦の違いについて興味を持ち、探求する。 【思】 人類が悲劇的な大戦を二度も繰</p>	<p>授業態度 発問評価 授業プリント・課題提</p>

1 2	2 節 第一次世界大戦と「民族自決」	繰り返した理由を大戦に至る経緯と大戦に考察する。	出 この単元を自己評価してみよう A B C
	41 第一次世界大戦	【技】 資料、地図、写真などから大戦が世界に及ぼした影響についてまとめる。	
1	42 ロシア革命	【知】 近代化の動き、民族意識の形成など、社会変革への主体的な動きを理解するとともに、大戦の開始に際し国際政治上、経済上、軍事的対立などの駆け引きや、国際的利害関係、帝国主義戦争であったことを理解する。	【期末考查】 11月下旬 授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など この単元を自己評価してみよう A B C
	43 ヴェルサイユ体制とワシントン条約		
	44 第一次世界大戦後のヨーロッパとアメリカの繁栄		
	45 西アジア・インド・東南アジアの民族運動		
	46 朝鮮・中国の民族運動		
	3 節 第二次世界大戦の悲劇		
	47 世界恐慌		
	48 ファシズムの台頭		
	49 第二次世界大戦の勃発		
	50 ヨーロッパ戦線 日本の軍国主義と日中戦争		
	51 アジア太平洋戦争		
	52 世界大戦の終結		
第6章 大戦後の世界と現代社会	【関】 国際連合創設、冷戦など戦後の世界の枠組みについて興味を持ち、探求する。	授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など この単元を自己評価してみよう A B C	
1 節 冷戦期の世界	【思】 冷戦から始まる大戦後の世界の枠組みの変化を理解し、そこから産まれる今日の課題について考察する。		
53 戦後世界の新たな枠組み			
54 冷戦のはじまりと拡大			
55 戦後のアジア・アフリカ諸国			
56 平和共存へ向かう世界			
57 社会主義世界と中東			
58 世界経済の変動と冷戦の終結			
2 節 現代世界の歩みとその課題			【知】 大戦後の世界の枠組みの変化と一体化を深める世界が抱える諸問題について理解する。
59 南北アメリカ・ヨーロッパの諸課題			
60 ロシア・中央アジアの諸課題			
61 西アジア・アフリカの諸課題			
62 南・東南アジアとオセアニアの諸課題			
63 東アジアの諸課題			
課題学習－持続可能な社会に向けて	【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。	学年末考查 2月下旬 授業態度 発問評価 授業プリント・課題提出など この単元を自己評価してみよう A B C	
1 調査・研究をしてみよう			
2 討論をしてみよう			
3 テーマ集			
日本列島の中の世界の歴史			